特殊鋼流通の愛鋼

衣浦工場の機能強化

隣地購入、新工場棟建設へ

条鋼加工の一大拠点に

愛知製鋼グループの大手特殊鋼流通、愛鋼（本社・愛知県東海市、社長・鷹羽茂文氏）は、同社基幹拠点・衣浦工場（半田市）のさらなる機能強化を図る。4月1日付けで工場横の用地を購入。今3カ年の中期計画期間内に新工場棟を建設し、加工設備の新設や移設を行いながら条鋼加工を軸とした一大拠点を築く考えだ。

手当てしたのは衣浦工場横の土地約1万8千平方㍍で、投資額は約3億8千万円。今後順次整地し、今年度から18年度（19年3月期）までの3カ年中期経営計画期間内に第二工場（仮称）を新設する方針だ。

現衣浦工場と新工場の役割分担は未定だが、現在手掛ける条鋼関連の加工業務を中心に考えており、「建屋新設で広大なスペースが生じることから、他の加工も担うことを検討している」（鷹羽社長）。

具体的には、生産効率向上を狙って本社（棒鋼切断）、上野（磨棒鋼の引抜）、東海（鍛造品機械加工・線材加工）が有する設備・機能の移転を検討するほか、より最終製品に近い工程まで踏み込んだ加工領域の拡大も視野に入れる。

鷹羽社長は「需要動向を慎重に見極めながら、新規事業への参入や新素材の取り扱いなど可能性を広く模索したい」とビジョンを語った。

ヨロズ社長に志藤執行役員

自動車部品大手のヨロズは8日、佐藤和己社長・COO（62）が代表権を持たない副会長・CCO（チーフ・コーポレート・オフィサー）に就任し、志藤健執行役員（46）が社長・COOに昇格すると発表した。6月中旬の定時株主総会後の取締役会で正式決定する。志藤氏は志藤昭彦会長・CEOの長男。

志藤健氏（しどう・けん）92年（平成4）東京スクール・オブ・ビジネス卒業。03年ヨロズ入社、13年執行役員経営企画室付部長、14年執行役員庄内ヨロズ社長・ヨロズエンジニアリング社長。神奈川県出身。昭和44年8月生。

雉井氏（左端）、山田氏（右端）と団体・個人優勝者

全特協　東京支部ボウリング大会

清水特殊鋼が4連覇

全日本特殊鋼流通協会・東京支部は7日、第12回「はがねの日」ボウリング大会を東京ドームボウリングセンターで開催し、25チーム100人が参加した。清水特殊鋼が4連覇を飾り、準優勝の伊藤忠丸紅特殊鋼とともに10月に初開催される「全特協全国ボウリング大会」への出場を決めた。

懇親会・表彰式では雉井達郎支部長、山田雅郎広報部会長が積極的な交流を呼びかけた。中締めで4月に本部総務部長兼東京支部事務局長に就任した丸本茂樹氏、約10年間つとめた前任の片野宏氏が挨拶した。

子育て支援で入学祝い金支給

アキテック

関東地区の大手アンカーボルトメーカー、アキテック（本社・埼玉県八潮市、社長・秋山孝広氏）はこのほど、従業員5人に入学祝い金（総額82万円）を支給した。次世代育成・子育て支援などの福利厚生の一環で、今春で11回目となる。

同社では毎春、従業員の家族が小・中学校、高校、大学・専門学校の入学時に祝い金を支給している。昨年は事務員への出産祝い金30万円も支給。秋山社長は「子育て世代である若手従業員は近年、退職者が出ていない。若手従業員の定着につながっている」としている。

中国・東北特殊鋼　きょう3度目のデフォルトか

中国・遼寧省当局系特殊鋼大手の東北特殊鋼集団（遼寧省大連市）は6日、きょうに償還期限を迎える総額8億元の社債について、利息の支払いができない恐れがあると発表した。

東北特殊鋼は3月28日と4月3日が期日の社債を返還できず、デフォルトになったばかり。今回も利払いができなければ、デフォルトは3件目となる。（上海時事）

日本産・鉄スクラップ輸入価格

韓国・現代製鉄　2万2000円で据え置き

【コリアスチール・ニュース特約】現代製鉄が先週、日本産鉄スクラップの入札で前週と横ばいのトン2万2千円（FOB）のビッドを出した。日本のオファー価格はトン2万3千～4500円だったもよう。

鉄スクラップ業界筋は「現代製鉄と日本のサプライヤーでは見方の差が大きく、大量の成約は容易ではなさそうだ」と述べた。現代製鉄による日本産鉄スクラップのビッド価格据え置きは韓国の国内価格を刺激しないための措置と見られる。現代製鉄は14日付けで韓国産の鉄スクラップ購入価格を引き下げると明らかにした。

三菱製鋼子会社

ジャカルタ支店開設

鋼材・ばね製品を拡販

三菱製鋼子会社のMSMインドネシア（社長・沼川孝氏）は、このほどジャカルタ支店（支店長・斎藤勇二取締役）を開設した。インドネシアでは三菱製鋼の合弁会社が6月から特殊鋼棒鋼圧延工場のホットランに入る。これを受け、ジャカルタ支店は日系自動車・二輪車、建機、農機向けや現地鋼材商社向けで鋼材・ばね製品の拡販を図る。

3月23日の開所式にはインドネシアや日本における三菱製鋼の取引先多数、三菱製鋼から佐藤基行社長、佐藤弘志常務、関根博士取締役鋼材事業部長ら総勢約80人が出席した。

佐藤社長は開所式で「現在、経済が足踏み状態のインドネシアだが、中長期的には必ず伸びる市場だ。インドネシアの特殊鋼生産により、現地調達ニーズへの対応力を強くする」と挨拶した。

三菱製鋼は2010年からインドネシアの電炉メーカー、ジャティム・タマン・スチール（以下JATIM）に特殊鋼製造の技術援助を行い、14年に資本参加して提携関係を強化。JATIMは15年に平鋼用ビレットの量産を開始しており、6月に圧延工場のホットランに入る。

JATIMは、圧延工場の稼働により、三菱製鋼の板ばね製造委託先であるインドスプリング向けのばね平鋼を一貫生産する。同時に構造用鋼などをインドネシアや周辺国に販売する。MSMインドネシアは板ばね用部品、三菱製鋼室蘭特殊鋼のビレット・平鋼に加え、JATIMの丸鋼・平鋼も販売していく。

女性活躍推進へ「行動計画」

愛知製鋼、女性管理職倍増

愛知製鋼（社長・藤岡高広氏）は8日、女性社員の活躍する雇用環境を整備するための行動計画を策定したと発表した。「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）に基づき、仕事と育児等の両立支援制度の拡充や、育児期間中のキャリア形成の支援策などに取り組み、2020年度に女性管理職の人数を14年度比2倍にすることや総合事技職の新卒採用者に占める女性比率を事務系で40%、技術系で10%以上とする計画。

同社では、ダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、これまでも育児休業および短時間勤務の制度化や、工場での交代勤務が可能な環境整備など両立支援策を推進。今年1月には、新たに「ダイバーシティ推進チーム」を設置した。

今回、女性活躍推進をさらに推進するため、行動計画（期間・2016～20年度）を策定したもの。

計画は、管理職に占める女性の割合が低いことや、社員に占める女性の割合が低いことなどを解決すべき課題とし、20年度に女性管理職を、登用目標を定めた14年度の2倍以上とすることを掲げた。

育児期間中のキャリア形成の遅滞を極小化する支援制度の検討（在宅勤務制度の導入検討、育児に関する具体的支援策の検討等）や、女性がいきいきと活躍できる職場風土づくりに向けた意識啓発活動、長時間労働の是正、有給休暇取得促進活動を推進。

また、両立支援制度の社内周知活動・実行、育児休業後復職者が活躍できる職場づくりに向けた研修（復職者、上司が対象）の実施、多様なキャリア形成に関する人事・研修制度の策定などを順次展開する。

産業工具の製造販売業

不二空機、国際溶接展に出展

スウェーデンに本拠を置く産業機械メーカー、アトラスコプコの関係会社で産業工具の製造販売業、不二空機（本社・大阪市東成区、代表・トーマス・オスターグレン氏）は、13日から16日までの3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で開催する2016年国際ウエルディングショーに出展する。

ブースでは産業用グラインダーの各種製品や砥石カバーの交換が簡単で軽量設計の最新モデルを紹介。180Wの高出力とギアの長寿命化を実現する新開発の製品を、発売に先駆けて初めて披露する。いずれも研削を実演し、来場者に製品性能を体験してもらう。

鉄スクラップ購入価格

トピー工業豊橋　全品種500円上げ

トピー工業豊橋製造所は鉄スクラップ購入価格を9日購入分より、全品種一律500円引き上げた。改定後のH2建値は1万9千円。

フル稼働が続く衣浦工場

同社は衣浦工場を「条鋼の加工センター」と位置付け、これまで積極的に能力増強を実施。昨年大口受注に対応して切断、穴あけ、箱詰めまでを行う加工ラインを増設し、月間切断能力は約300万個まで高まった。

設備投資とともにレイアウト変更を並行していたが、条鋼切断・穴あけ加工を中心に高い稼働率が続く中で能力不足、スペースの狭隘化が徐々に表面化していた。

同社は棒鋼加工能力を一段と高め、従来以上の生産効率化を狙って以前から大型工場の建設を計画しており、その前段階として愛知製鋼から用地を購入したもの。

三和

九州と沖縄に新工場

プレート定着型　せん断補強鉄筋を拡販

異形棒鋼など一般鋼材加工販売の三和（本社・大阪市住之江区、社長・大森滋夫氏）はこのほど、九州及び沖縄に「ヘッドバー」製造工場を開設した。摩擦圧接で鉄筋の片端に取り付けた長方形のプレートにより、定着を確保するせん断補強鉄筋「ヘッドバー」を拡販していく。投資額は九州工場が約6千万円、沖縄工場が約3千万円。

九州工場は富士鋼材福岡支店（所在地・福岡市東区）、沖縄工場は沖阪産業南部営業所（所在地・沖縄県島尻郡八重瀬町）内にそれぞれ開設。三和は機械と技術を提供し、富士鋼材と沖阪産業の従業員が加工及び出荷する。設置した摩擦圧接機は九州工場が大型機（対応径D16～41）と小型機（同13～25）それぞれ1機、沖縄工場が小型機1機。九州工場が月に3万～4万カ所、沖縄工場が月に1万5千～2万カ所の鉄筋を加工することができる。

「ヘッドバー」はプイ・エス・エル・ジャパンと大成建設が開発したプレート定着型せん断補強鉄筋。定着部が小さいため、高密度な配筋力所など従来の曲げフックでは施工困難な場所に施工できる。配筋作業を省力化し、従来の曲げフックと同等の耐震性能も持つため、土木工事で採用されるケースが多い。

新工場に導入した圧接機

三和の九州及び沖縄工場は両地区初のプイ・エス・エル・ジャパン指定認定工場。「九州や沖縄では普及が進んでいないので、現地の企業と協力しながらヘッドバーの特徴をPRし、普及に努めたい」（大森社長）としている。

鶴町工場（所在地・大阪市大正区）では、鉄筋の両端に長方形のプレートを設置した「アイヘッドバー」を加工できる摩擦圧接機を昨年秋に1機導入した。「アイヘッドバー」は昨年、プイ・エス・エル・ジャパンと大成建設が開発したばかり。プレートの向きを自由に設定できるため、従来のヘッドバーと比べて、過密配筋の施工性が向上する。鶴町工場にはそれ以外にも6台の摩擦圧接機を保有している。7台の設備で16年3月期は約53万カ所の加工になる見通し。17年3月期は81万5千カ所を目指す。

物質・材料研究機構

データシート9冊発行

大気暴露試験結果など

物質・材料研究機構は7日、10年にわたる大気暴露試験など民間企業が手掛けるのが難しい長期の材料試験結果などをまとめたデータシートと資料集計9冊を新たに発行したと発表した。

発行したデータシートは火力発電プラント用耐熱鋼の「クリープデータシート」や、原子力プラントや船舶の機械部品・ボルトに使われる析出硬化型ステンレス鋼「SUS630」を対象とした「疲労データシート」、構造材として幅広く使われる炭素鋼や耐候性鋼を対象につくば市と千葉県銚子市、沖縄県宮古島で10年間にわたり暴露試験を実施した結果をまとめた「大気腐食データシート」など。

ロケット用材料開発などに使われる「宇宙関連材料の強度データシート」やチタン合金の疲労特性の特徴をまとめた「構造材料データシート資料」も発行した。

遊歩道

「錆びない強さ」

▽…「2012年に当社のキャッチフレーズを『エコカラーのトワロン』から『錆びない強さ』に変えた。それ以来、IR被覆鉄線の強みと創業80年以上の歴史を積み重ねた企業の強さが伝わりやすくなった」と話すのは、トワロンの藤本貴美嘉社長。

▽…トワロンは被覆鉄線メーカー。耐摩耗性や弾力性の高いアイオノマーを被覆したIR被覆鉄線に注力している。かごマットや落石防護網に使われる。防錆性に優れ海岸などで30年以上それ以外の環境なら60年以上錆びない。設置する場所の景観を壊さないようにさまざまな色の被覆材料を用意している。なかでも無色透明の被覆樹脂は鉄線の状態が一目でわかり維持管理が容易になるため、引き合いが多い。強塩害地区の沖縄をはじめ、全国の浸食の激しい海岸沿いを狙って営業活動を進める。今後の受注増設備を増強する考えもある。

▽…「通常金網製品に多く採用されている亜鉛めっき鉄線と比べ、割高ではあるが、30年以上錆びないため、ランニングコストは安い。その点をしっかりとPRして受注につなげていきたい」

どこでも活用できるポケット判!

ハンディサイズで実用的
ノベルティ用としても大好評
鉄鋼マン必携の最新質量表!

社内・ノベルティ向け配布用に
社名・営業品目の印刷承ります
※ 50部以上ご注文の場合

スマホ・タブレットで読める電子書籍版も発売中!
電子書籍お申込方法　定価:1,620円(税込)
下記電子書籍サイトからお求めいただけます。
http://koseiya.wook.jp/
サイト内より　鉄鋼重量ハンドブック　検索

ご注文は最寄りの書店、または鉄鋼新聞社まで

改訂　鉄鋼重量ハンドブック　発売中!
定価　1,300円+税
ポケット判／530頁

鉄鋼新聞社　〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-101 神保町101ビル
TEL 03(5259)5202　FAX 03(5259)5208

©GRINDER-MAN.

全特協の「ゼントクマン」

LINEスタンプに

全日本特殊鋼流通協会は、オリジナルキャラクター「ゼントクマン」のLINEスタンプを発売開始した。全特協は「全日本特殊鋼販売組合連合会」から「全日本特殊鋼流通協会」に改組した日を記念し、2005年度から4月1日を「はがねの日」として普及活動に努めている。この一環で、SNSツールとして広く使われるLINEでゼントクマンのスタンプを発売する。

役員人事

（カッコ内は旧職）

ネツレン

（6月28日付）

【役員人事】

▽代表取締役取締役社長製品技術本部・研究開発センター管掌（代表取締役取締役社長製品技術本部管掌）溝口茂

▽取締役技監（代表取締役専務取締役経営全般・知的財産・技術協力担当研究開発センター管掌）川嵜一博

▽退任（常務取締役メキシコ新規事業推進・品質保証担当製品事業部管掌品質保証本部長）中尾安幸

▽常務取締役IH事業部長兼品質保証本部長（常務取締役IH事業部長）元木信二郎

▽常務取締役設備担当製品事業部長（取締役設備担当製品事業部長兼調達本部長）大宮克己

▽取締役製品事業部副事業部長兼調達本部長兼製品事業部業務部長（新任製品事業部業務部長兼調達本部副部長）鈴木孝

▽退任（監査役社外監査役）浦部善和

▽監査役社外監査役中野竹司